

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date 2023 年 8 月 21 日(YYYY /MM/ DD)		
ふりがな 氏 名 / Name		学生番号/ Student ID
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	総合科学部・ 総合科学科	学部/研究科 4 (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	☒ HUSA ☐ USAC ☐ UMAP	
留学先大学 Host University	マラヤ大学 (国名/Country : マレーシア)	
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	なし	
在籍身分 Status at Host University	Mobility student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)	
留学期間 Period of Program	2023 年 2 月 22 日 ~ 2023 年 7 月 24 日 (YYYY /MM/ DD) (YYYY /MM/ DD)	

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	高校の修学旅行でマレーシアを訪れたことがきっかけで、多文化社会に興味を持ち、様々な民族が暮らす中で留学し、価値観を広げたいと思ったから。マラヤ大学を選んだ理由は、英語で授業を受けることができ、東南アジアの中でもレベルが高く、興味があるジェンダーやマイノリティに関する講義があると聞いたから。
留学準備を始めた時期 (応募する 何か月前ですか?) Commencement of Preparation for Application	コロナの影響で留学時期が明確ではなかったため、1 年次の後半くらいから語学試験の勉強を始めました。IELTS は一年次と二年次に 2 回受けました。三年次の二次募集に応募するため、1、2 か月ほど前から準備しました。派遣先の決定後は、ビザなど複雑で時間のかかる手続きが多かったため、渡航まで継続して準備を行っていました。
事前準備について(どのような準備をしたか、しておけばよかったか) Preparation Completed Prior to Study Abroad	語学試験、大学への提出書類、ビザなど IELTS 対策としての英語だけでなく、日常的な会話としての英語をもっと身に付けられていればよかったなと思いました。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : student visa
	ビザ申請先 / Location of Visa Application : オンライン
	提出書類 / Confirmation/Recommendation Letter, Passport Size Photo, Health Declaration Form, Passport Data Page, UM Offer Letter
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process : 3-4 か月
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	寮、履修登録など
出国年月日/ Date of Departure	2023 年 2 月 22 日 (YYYY /MM/ DD)
経路(往路) / Route (Outward)	広島→羽田→成田→クアラルンプール

現地での出迎え Pick-up Service	☒ 有/Yes (大学関係者/Univ. Staff) ☐ 無/No	
到着後オリエンテーションの有 無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	☒ 有 /Yes ☐ 無/No	有の場合 期間/Period : 3月6日 - 3月12日 (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation 留学生サポートの紹介、クラブ活動の紹介、ビザや履修登録の手続き、マレーシアの紹介
帰国年月日 / Date of Return	2023年7月25日 (YYYY/MM/DD)	
経路(復路) / Route (Return)	クアラルンプール→成田→羽田→広島	

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額 Total Amount	637593	円/yen
	内訳 Details		
	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)	132900	円/yen
	ビザ申請手数料/ Visa Application Charge	35000	円/yen
	予防接種費用 / Immunization Charge	0	円/yen
	保険料 / Travel Insurance	51360	円/yen
	教材費(授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)	0	円/yen
	宿舍費(住居費) / Accommodation Fee	87553	円/yen
	光熱費 / Utility Cost	0 (宿舍費に含む)	円/yen
	食費 / Meal Cost	114375	円/yen
	通信費(インターネット・携帯) / Internet, Phone	6405	円/yen
	交通費(宿舍～大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	0	円/yen
	交際費 / Social Expenses	約 70000	円/yen
	その他 / Others (大学の管理費) (旅行費)	約 20000 約 120000	円/yen 円/yen
	(費)		円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について(カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	ARTS, RELIGION AND RITUAL, WOMEN'S VOICES IN LITERATURE, THEORY OF GENDER STUDIES, INTRODUCTION TO COMMUNICATION IN THAI LANGUAGE LEVEL I 一つの講義は3時間で、2時間の講義+1時間のチュートリアルで構成されています。
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	☐ 有/Yes ☒ 無/No
授業・勉強についてのアドバイス(留学前の履修、留学中、単位取得等) / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	特定の学部には所属せず、様々な学部の講義を受けることができます。ビジネスやマレー系の授業など人気があるものは、履修登録開始後すぐに埋まってしまう。多くの留学生在が elementary Malay を受講していました。中には、現地の学生が多く、マレー語が主に使われる授業もあるので、一度受けてみて修正期間中に変更するといいです。留学生在は修正期間を過ぎても追加や削除の融通が利いたので、留学生在サポートに問い合わせるといいと思います。

日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）/ Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	基本的にひとつの授業は、講義 2 時間+チュートリアル 1 時間の計 3 時間で構成されていて、履修登録の際には 2 時間の講義しか登録されないで、1 時間のチュートリアルは授業中にみんなで話し合って曜日と時間帯を決めます。そのため余裕をもって時間割を組むといいです。留学生は基本的に 3 つか 4 つの授業をとっていました。一つの授業で、プレゼンテーション、グループワーク、レポート、期末テストなど多くの課題が出るので、私は 4 講義しかとっていませんでしたが、十分忙しかったです。
--	---

5. 生活等について / Lifestyle

(1) 留学先の住居について / Accommodation

住居の種類 Type of Accommodation	☒ 大学の寮 / University Dormitory ☐ アパート / Apartment ☐ その他 / Others ()		
住居の広さ Size of the Room	約/approximately 不明 m ²	同居人の有無 Roommate(s)?	☒ 有 / Yes (2 / 4 人/People) ☐ 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	☒ 電気/ Electricity ☒ ガス/ Gas ☒ 水道/ Water ☒ 給湯/ Hot Water ☒ シャワー/ Shower ☐ 風呂/ Bathtub ☒ 水洗便所/ Flushable Toilet ☐ 暖房/ Heating ☒ 冷房/ Cooling ☒ 台 所/ Kitchen (kk10 は決まったフロアに共用キッチン、IH は部屋ごとに4人で一つのキッチン) ☒ 食堂/ Dining Room (kk10 は寮ごとにカフェテリア、IH はない) ☐ 固定電話/ Land-Line Phone ☒ インターネット/ Internet ☐ その他/ Others ()		
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month	(現地通貨/ local currency)	約 approximately kk10: 18300 / IH: 18000 円 yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	大学の寮は、オンキャンパスの kk10 とオフキャンパスの International House があります。環境的には IH が断然いいですが、人気なので募集が始まるとすぐに埋まってしまいます。私は最初 kk10 に住んでいましたが、周りにスーパーがなく立地的に不便だったり、水回りの環境が悪かったりしたため、IH に引っ越しました。Kk10 も IH も同じ国の留学生と同室にされることが多いですが、IH 内では留学生同士の交流が多いため、他国の学生と交流する機会もたくさんありました。IH の周辺にはスーパーやレストランが入った商業施設や、ローカルなレストランも多く、とても便利でした。最初の募集の段階で IH に入れなくても、セメスター開始後に入れる場合もあるので、IH のオフィスに交渉してみるといいです。		
(2) 医療について / Medical Care			
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	☒ 本学指定の保険 / Hiroshima University ☐ 留学先大学指定の保険 / Host University ☐ その他 / Others ()		
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 1000 万円 / yen, 入院1日 / per day of Hospitalization (治療・救援費用) 1 億円 / yen その他 / Others ()		

留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	☐ 有 / Yes (種類 / Acquired Immunizations : _____ , 医療機関名 / Location of Immunization : _____) ☒ 無 / No
留学先国の医療事情 (日本と比較して) Difference in Medical Service (Compared to Japan)	保険が提携している病院の中には、日本語が使える病院もあり、清潔で、設備も整っていたように思います。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	デング熱にかかった友人がいたので、虫よけスプレーは必須です。水道水は基本的に飲まないようにしていました。日本で飲んでいた解熱剤や鎮痛剤、胃薬など持っていくと安心だと思います。また、マレーシアのトイレは、トイレトペーパーがないことが多いので、携帯用のトイレトペーパーを持ち歩いていました。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management	
私が留学していた時期に、住んでいた地域周辺でギャングによる殺人事件が起きたという話や、友人が警察官に付け回されたという話を聞いたので、夜一人で出歩かないようにしたり、公的機関の職員であっても信用しすぎないようにしたりしました。	
(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice	
マレーシアの料理は野菜が少ないため、できるだけ自炊をして栄養を取るようになっていました。水道水や油に当たったり、肉に火が通っていなかったりするので、食べる際は気を付けていました。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing	
暑さは日本の夏と同じくらいですが、紫外線の量が日本の3倍と聞いたので、日傘や日焼け止めが必須でした。外はとても暑いですが、室内はどこも冷房が効きすぎていて寒いので、薄手の上着を持ち歩くといいです。イスラム教なので、半ズボンやビーチサンダル、露出の多すぎる服装だと、図書館などに入れなかったり、テストを受けられなかったりします。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む) / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)	
大学にはインターネット環境がありますが、場所によってはとても弱いです。コピーや印刷は、図書館内と、図書館の近くにコピー屋さんでできます。カフェテリアは学部、寮ごとによって、それぞれメニューも違います。学内にはカフェや、大学のグッズを売っているショップもあります。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?) / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)	
現地学生との交流は、授業内や留学生サポートのバディと限られていて、留学生同士の交流が多かったように感じます。私は大学のクラブ活動に参加したので、現地学生と交流する機会がありました。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners	
ムスリムの方が多いため、ラマダン (断食) の時期は、ムスリムの方の前で飲食しないようにしたり、過度な肌の露出は避けるようにしたりしました。外食する際も、ハラールのお店かどうか確認するようにしていました。ウェットティッシュもアルコールを使用していないものを使うようにしていました。	
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?	

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

マイナーな国への留学は、大学から一緒に渡航する人も少なかったり、留学に関する情報も少なかったりと、準備の段階から大変なことも多いと思います。しかし、自分で現地の大学に連絡を取ったり、何か月にもわたる準備を乗り越えたりした経験は、留学中、留学後の大きな自信につながると思います。私の場合、コロナの影響で予定していた時期に留学できず、最期のチャンスとして今回留学することができました。友人や先輩方の中には、留学したくてもできなかったり、オンライン留学で現地に渡航できなかったりした人も多くいます。コロナが収束した今、実査に現地で生活しながら、現地の大学で学べる経験は、留学の期間に関係なく人生において価値あるものだと思います。留学の準備は、語学試験や大学での成績など長い時間がかかるものなので、あまり考えすぎず、一歩踏み出してみることも大事だと感じました。

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度） / Feedback (English about 600 words)

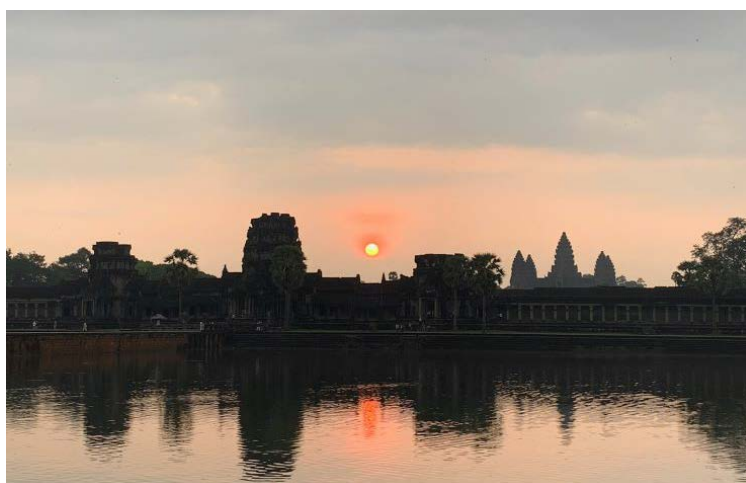
• 以下の点を踏まえ、記述して下さい。 / Please give your feedback including the following points:

- ① 留学を終えての所感 / Please describe and evaluate your study abroad experience briefly.
- ② 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事 / What was the most impressive experience in your study abroad experience?
- ③ 留学の成果、留学前と比較して成長した点 / What is your achievement through the study abroad experience?
- ④ 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか(将来のキャリアパスも含めて) / How do you want to make use of your study abroad experience in the future including your career?

• 写真を2〜3枚程度、貼り付けてください(写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい)。

Please add 2-3 photos (within 500 KB per a photo).

- ① 半年間の留学を終えて感じたことは、半年間が夢のようであったということでした。現地に到着した直後は、不安とさみしさに全然楽しめず、自分は留学に向いていないのではないか、早く日本に帰りたいと毎日のように思い、半年がとても長く感じていました。しかし、学校が始まり、友達ができると、毎日が新鮮で、忙しく、気づけば授業も終わり、今振り返るとあっという間の半年間でした。正直、もっとこうしていたらと思うことがないわけではありませんが、たくさん悩みながら過ごした半年間は、自分にとってとても価値ある半年間だったと思います。毎日、英語だけでなく中国語、韓国語、マレー語など様々な言語を聞き、マレー、インド、中国など様々な料理や文化を経験できたマレーシアでの生活は、とても刺激的で、自分の狭い視野や価値観を広げることができました。
- ② 最も印象に残った体験は、現地のダンスクラブに参加し、ショーケースに出演したことです。みんなで一つの作品を作り上げることは、たとえ同じ日本人であっても難しいことなのに、言語や文化の違いがある中、限られた時間の中で形にできたときは、達成感と嬉しさと感動でいっぱいになりました。
- ③ 留学前と比較して、英語を話すことに対するためらいを感じなくなりました。英語力が飛躍的に伸びたわけではありませんが、あまり文法や間違いを気にすることなく、英語をコミュニケーションの手段として使うことができるようになったと思います。また、自分から友人を遊びに誘ったり、留学生と交流する場に出かけたりなど、自分から積極的に行動できるようになったと思います。また、他国の友達とだけでなく、日本人の友達とも今後の進路のことについてたくさん話し合ったことで、留学に対する考え方や、留学を終えた将来のことも考えることができたと思います。
- ④ 今回の留学を通して、自身の将来について様々な面から考えることができました。日本で暮らしていると、英語の必要性があまり感じられず、グローバル化社会において英語を学ばなければいけないという気持ちはあっても、正直そのモチベーションを保つことはできていませんでした。しかし、今回の留学で、日常生活から英語を用い、話す相手によって多数の言語を操るマレーシアの方々や他国の留学生を実際に見て、自分の未熟さや、英語や他の言語を日常的なコミュニケーションツールとして学ぶ必要性や意欲を再認識することができました。また、他国での生活を通し、今までは当たり前で気づくことのできなかった、日本の魅力や良さも再認識することができました。これらの経験を通して、英語や他の言語を用いて、日本の魅力をもっと世界に伝えていくことができたらいいなと思うようになり、また、外国の方だけでなく、日本人自身が日本の良さを理解し、自信をもって他国の方に発信できるような取り組みができればいいなと思いました。



左上：ロティと呼ばれるナンみたいなもの、カレーと一緒に食べるが、甘いスイーツのようなものもある
 右上：ブルーモスク、女性は入る際、ヒジャブと呼ばれるスカーフを着用する
 下：カンボジアのアンコールワットと朝日

注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。/ This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by International Exchange Group.